

事業所名

スマートキッズソリス葛西(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

2025年

1月

15日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		13時30分から	19時10分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	食具、筆記具等生活で使用する物の練習 生活スキル獲得のための食具の操作や道具操作などの課題 就労・自立に向けてのPC文字入力や音声入力の練習課題		危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 身だしなみや清潔保持に関する知識習得のための活動 自立した生活を送るための買い物学習		
	運動・感覚	視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題		指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) 指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等)		
	認知・行動	数字の理解や計算の習得に関わる課題 時計や数量についての理解に関わる課題 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)		興味・関心の幅を広げるための活動(日本の文化に親しむ(書初め・正月遊び等)) 記憶保持に関わる活動(覚えて真似っこ、神経衰弱、山手線ゲーム等) 物の上位概念理解を促す活動(仲間分け)		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 口頭での指示理解や説明内容の理解のための活動(スリーヒントクイズ、メモをとってみよう) 口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等)		
	人間関係・社会性	生活場面で必要な場面理解や他者の感情理解の課題(SST) 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST)		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 複数の利用者同士の適切な関わり理解のための活動(貸し借り、勝ち負けのあるゲーム等)		
家族支援		保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。 保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。		移行支援	今できるようになっておきたい事、将来できるようになりたいことを整理し、行っている当事業所での支援内容を学校や他事業所と情報共有し、同じ目標のもと支援を行えるようにする。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。	
地域支援・地域連携		学校での課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所での対応を他機関に連携することで、実践的な支援に繋げる。 各機関での対応や様子を確認し、日常生活でその対応を活かせるように保護者を含めて連携していく。		職員の質の向上	経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。	
主な行事等		避難訓練(火事、地震、防犯等)、課外活動(購入体験等)、調理活動(かき氷作り等)、保護者会、その他				